

宮崎・日南で働こう！

住んでいると気づきにくい地元の暮らしやすさ・働きやすさ
(宮崎と東京の生活をライフステージごとに比較してみました)

【給与・通勤】

初任給 (資料出所：令和5年賃金構造基本調査)

東京 高卒 187,200円 大卒 244,500円
宮崎 高卒 170,500円 大卒 214,600円



通勤時間 (資料出所：令和3年社会生活基本調査)

東京 1時間35分
宮崎 56分

ラッシュ時の通勤で会社に
着く前からヘトヘトだ



【結婚・生活】

50歳時未婚割合 (国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集 (2024年)」より)

東京 男 32.15% 女 23.79%
宮崎 男 24.64% 女 16.83%



仕事からの帰宅時間 (資料出所：令和3年社会生活基本調査)

東京 19時15分
宮崎 17時57分

時間に余裕があれば
私生活も充実するね



【出産・育児】

合計特殊出生率 (資料出所：令和5年人口動態統計月報年計 (概数))

東京 0.99 ※ 女性1人が産む子どもの平均数
宮崎 1.49



出産費用 (厚生労働省「出産費用の実態把握に関する調査研究 (R3年度)」より)

東京 553,021円
宮崎 400,112円

安全な地元だから
子育ても安心だね



【住宅・支出】

持ち家の割合 (資料出所：令和2年国勢調査)

東京 46.1%
宮崎 65.7%



住宅の敷地面積 (資料出所：統計でみる都道府県のすがた2023)

東京 139 m²
宮崎 322 m²

借家の1か月あたり家賃 (資料出所：平成30年住宅・土地統計調査)

東京 81,001円
宮崎 38,353円

宮崎での暮らしは
家計にもやさしい



1世帯あたりの消費支出 (資料出所：2019全国家計構造調査)

東京 369,238円 ※ 夫婦と子ども2人の世帯の場合
宮崎 263,219円

東京は、収入面で恵まれ、娯楽など刺激的な魅力にあふれていますが、生活費や教育費等の支出が相当な負担になります。

一方、宮崎は、豊かな自然や観光資源に恵まれ、都会と比べて通勤の負担が少なく、自分や家族のために使える時間にゆとりが持てることも大きな特長です。県外の大学を卒業後、Uターン就職した方からは、「親や友人が近くにいるので安心して社会人生活をスタートさせることができた」といった意見も聞かれます。

進路選択にあたっては、このような地元で暮らすメリットも参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。